臺灣日日新報　第一萬四千八百四十六號　A　(一)

臺灣日日新報　昭和十六年七月九日　(水曜日)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)　(第二期)

臺灣日日新報　夕刊　七月八日　第二部一頁之內　作業日江・人行從業武區　殘第二次日丁西可號市北區　社報廣告日・探基　所行發

兩陛下葉山に行幸啓

玉體御鍛錬に御駐輦

【東京發同盟】畏くも兩陛下には去る御成婚以來御多端にわたらせ給ふ天皇陛下には去る御成婚以來御多端にわたらせ給ふ

【東京發同盟】畏くも兩陛下には去る御成婚以來御多端にわたらせ給ふ

【東京發同盟】畏くも兩陛下には去る御成婚以來御多端にわたらせ給ふ

七日再び重慶夜襲

海鷲敵軍事施設を痛爆

【50基地八日發同盟】中支那派遣軍報道部八日發表――連日に亙り重慶攻撃中の海軍航空部隊は七日再び重慶夜襲を決行、相踵いで西郊軍事施設に巨彈を投下その大半に潰滅的打撃を與へたりとしてゐる

廣東工業界の復興

軍管理工場返還契機に　目覺しき發展振り

福建海外華僑公會成立

日華提携新建設へ再出發

獨米衝突の危險切迫

米軍遂に交戰區域へ

英守備隊の補充へ

氷島（アイスランド）に米海軍進駐

ルー米大統領教書發表

南部戰線獨軍進擊

赤軍防戰に努む

白露方面獨ソ兩軍激戰

本國本位を離れ

佛印、日本へ親近

貿易趨勢、米國も躍進

芳澤使節神戸着

定例閣議

南方施策協力へ

新たな內容說明

督府局部長會議

大陸開拓民指

導者協議會

總督視察

九日から引續き近邪工場

二國志

(532)

(出廬の卷)

吉川英治作

矢野橋村畫

聖壓器

容量 30,000KVA迄

東京變壓器株式會社

東京・市田　電話　市田2339・4749・5078番

劑法療學化新の一第度粹純

錠 ルーポラテ 症膿化

面皰・中耳炎
痤瘡・扁桃腺炎
膿瘍・淋巴腺炎
蓄膿症・乳腺炎
創傷化膿・膀胱炎
齒槽膿漏・產褥熱

內服：殺菌：新化學療法

葡萄狀球菌・連鎖狀球菌・淋菌等、生體內に侵入して病源となる諸種の細菌に對し直接の殺菌作用を發揮すると同時に噬菌力を細胞に賦與する化學療法の發見は、世界の醫學史上に燦然たる光輝を放てり。

我國に於て之が嚆矢たる榮譽と、卓越せる技術による最高の純粹度とにより全國醫界に第一位の信頼を博し、あらゆる化膿性疾患の初期に內服せしむれば、治療期間を著しく短縮し極めて快調に治遙するが故に、各科に亙り賞用せらる。

(六錠・一〇錢・一〇〇錠)

TH—19

大阪・第一製藥株式會社

C—N66

合配ンミタビ及ンモルホ・許特賣專

美身クラブ

…るすに康健くし美を肌

品藥藥クラブ

肌の整美に

ホルモンとビタミンのきゝめや特殊殺菌劑の力を發揮するクラブ美身クリームで、生理的に日ヤケや小皺を防ぎ汚れやニキビ肌を整へて、芯から明るい艷肌にして下さい！

健康化粧に

蒼白した美しさ……健康化粧にはホルモンの力で、素肌からキメ細やかにして白粉ノリをグッとよくするクラブ美身クリームの下地をお忘れなく！　美しく仕上らばかりか汗にも崩れません。

製藥部外品・公定價特品

大阪・東京發賣元　中山本舖堂

闇の重慶に地獄の焔

敵高角砲を尻目に必中巨彈の雨

十七次夜間爆撃同乗記

100基地にて七日發同報特電】六日夜半の月を利して決行された第十七次重慶夜間爆撃は本年二度目の猛烈大空襲であつたが記者は特に許されて爆撃隊長として最初の夜間爆撃に參加せられ重慶の闇の上空より敵高角砲の必死の射撃を尻目に必中巨彈の雨を降らせ來つた一部始終を目のあたり見て來た。

大本營發表の第一次攻撃隊の編成は次の如くである。

▲第一次攻撃隊（指揮官　第二聯合航空隊司令官　山本五十六海軍少將）

▲第一聯合航空隊（指揮官　第一聯合航空隊司令官　塚原二四三海軍少將）

▲第二聯合航空隊（指揮官　第二聯合航空隊司令官　小園安名海軍大佐）

▲第十一航空艦隊（指揮官　第十一航空艦隊司令長官　塚原二四三海軍中將）

▲第十二航空艦隊（指揮官　第十二航空艦隊司令長官　山縣正郷海軍中將）

▲第十三航空艦隊（指揮官　第十三航空艦隊司令長官　永野修身海軍大將）

▲第十四航空艦隊（指揮官　第十四航空艦隊司令長官　近藤信竹海軍中將）

▲第十五航空艦隊（指揮官　第十五航空艦隊司令長官　大川内傳七海軍中將）

▲第十六航空艦隊（指揮官　第十六航空艦隊司令長官　福留繁海軍中將）

▲第十七航空艦隊（指揮官　第十七航空艦隊司令長官　豊田副武海軍中將）

▲第十八航空艦隊（指揮官　第十八航空艦隊司令長官　寺岡謹平海軍中將）

▲第十九航空艦隊（指揮官　第十九航空艦隊司令長官　小澤治三郎海軍中將）

▲第二十航空艦隊（指揮官　第二十航空艦隊司令長官　吉田善吾海軍中將）

▲第二十一航空艦隊（指揮官　第二十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二十二航空艦隊（指揮官　第二十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二十三航空艦隊（指揮官　第二十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二十四航空艦隊（指揮官　第二十四航空艦隊司令長官　豊田副武海軍大將）

▲第二十五航空艦隊（指揮官　第二十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二十六航空艦隊（指揮官　第二十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二十七航空艦隊（指揮官　第二十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二十八航空艦隊（指揮官　第二十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二十九航空艦隊（指揮官　第二十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三十航空艦隊（指揮官　第三十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三十一航空艦隊（指揮官　第三十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三十二航空艦隊（指揮官　第三十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三十三航空艦隊（指揮官　第三十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三十四航空艦隊（指揮官　第三十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三十五航空艦隊（指揮官　第三十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三十六航空艦隊（指揮官　第三十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三十七航空艦隊（指揮官　第三十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三十八航空艦隊（指揮官　第三十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三十九航空艦隊（指揮官　第三十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第四十航空艦隊（指揮官　第四十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第四十一航空艦隊（指揮官　第四十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第四十二航空艦隊（指揮官　第四十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第四十三航空艦隊（指揮官　第四十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第四十四航空艦隊（指揮官　第四十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第四十五航空艦隊（指揮官　第四十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第四十六航空艦隊（指揮官　第四十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第四十七航空艦隊（指揮官　第四十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第四十八航空艦隊（指揮官　第四十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第四十九航空艦隊（指揮官　第四十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第五十航空艦隊（指揮官　第五十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第五十一航空艦隊（指揮官　第五十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第五十二航空艦隊（指揮官　第五十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第五十三航空艦隊（指揮官　第五十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第五十四航空艦隊（指揮官　第五十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第五十五航空艦隊（指揮官　第五十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第五十六航空艦隊（指揮官　第五十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第五十七航空艦隊（指揮官　第五十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第五十八航空艦隊（指揮官　第五十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第五十九航空艦隊（指揮官　第五十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第六十航空艦隊（指揮官　第六十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第六十一航空艦隊（指揮官　第六十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第六十二航空艦隊（指揮官　第六十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第六十三航空艦隊（指揮官　第六十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第六十四航空艦隊（指揮官　第六十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第六十五航空艦隊（指揮官　第六十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第六十六航空艦隊（指揮官　第六十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第六十七航空艦隊（指揮官　第六十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第六十八航空艦隊（指揮官　第六十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第六十九航空艦隊（指揮官　第六十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第七十航空艦隊（指揮官　第七十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第七十一航空艦隊（指揮官　第七十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第七十二航空艦隊（指揮官　第七十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第七十三航空艦隊（指揮官　第七十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第七十四航空艦隊（指揮官　第七十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第七十五航空艦隊（指揮官　第七十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第七十六航空艦隊（指揮官　第七十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第七十七航空艦隊（指揮官　第七十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第七十八航空艦隊（指揮官　第七十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第七十九航空艦隊（指揮官　第七十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第八十航空艦隊（指揮官　第八十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第八十一航空艦隊（指揮官　第八十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第八十二航空艦隊（指揮官　第八十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第八十三航空艦隊（指揮官　第八十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第八十四航空艦隊（指揮官　第八十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第八十五航空艦隊（指揮官　第八十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第八十六航空艦隊（指揮官　第八十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第八十七航空艦隊（指揮官　第八十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第八十八航空艦隊（指揮官　第八十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第八十九航空艦隊（指揮官　第八十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第九十航空艦隊（指揮官　第九十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第九十一航空艦隊（指揮官　第九十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第九十二航空艦隊（指揮官　第九十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第九十三航空艦隊（指揮官　第九十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第九十四航空艦隊（指揮官　第九十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第九十五航空艦隊（指揮官　第九十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第九十六航空艦隊（指揮官　第九十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第九十七航空艦隊（指揮官　第九十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第九十八航空艦隊（指揮官　第九十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第九十九航空艦隊（指揮官　第九十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百航空艦隊（指揮官　第百航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百一航空艦隊（指揮官　第百一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百二航空艦隊（指揮官　第百二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百三航空艦隊（指揮官　第百三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百四航空艦隊（指揮官　第百四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百五航空艦隊（指揮官　第百五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百六航空艦隊（指揮官　第百六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百七航空艦隊（指揮官　第百七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百八航空艦隊（指揮官　第百八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百九航空艦隊（指揮官　第百九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百十航空艦隊（指揮官　第百十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百十一航空艦隊（指揮官　第百十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百十二航空艦隊（指揮官　第百十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百十三航空艦隊（指揮官　第百十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百十四航空艦隊（指揮官　第百十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百十五航空艦隊（指揮官　第百十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百十六航空艦隊（指揮官　第百十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百十七航空艦隊（指揮官　第百十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百十八航空艦隊（指揮官　第百十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百十九航空艦隊（指揮官　第百十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百二十航空艦隊（指揮官　第百二十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百二十一航空艦隊（指揮官　第百二十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百二十二航空艦隊（指揮官　第百二十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百二十三航空艦隊（指揮官　第百二十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百二十四航空艦隊（指揮官　第百二十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百二十五航空艦隊（指揮官　第百二十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百二十六航空艦隊（指揮官　第百二十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百二十七航空艦隊（指揮官　第百二十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百二十八航空艦隊（指揮官　第百二十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百二十九航空艦隊（指揮官　第百二十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百三十航空艦隊（指揮官　第百三十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百三十一航空艦隊（指揮官　第百三十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百三十二航空艦隊（指揮官　第百三十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百三十三航空艦隊（指揮官　第百三十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百三十四航空艦隊（指揮官　第百三十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百三十五航空艦隊（指揮官　第百三十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百三十六航空艦隊（指揮官　第百三十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百三十七航空艦隊（指揮官　第百三十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百三十八航空艦隊（指揮官　第百三十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百三十九航空艦隊（指揮官　第百三十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百四十航空艦隊（指揮官　第百四十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百四十一航空艦隊（指揮官　第百四十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百四十二航空艦隊（指揮官　第百四十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百四十三航空艦隊（指揮官　第百四十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百四十四航空艦隊（指揮官　第百四十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百四十五航空艦隊（指揮官　第百四十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百四十六航空艦隊（指揮官　第百四十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百四十七航空艦隊（指揮官　第百四十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百四十八航空艦隊（指揮官　第百四十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百四十九航空艦隊（指揮官　第百四十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百五十航空艦隊（指揮官　第百五十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百五十一航空艦隊（指揮官　第百五十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百五十二航空艦隊（指揮官　第百五十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百五十三航空艦隊（指揮官　第百五十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百五十四航空艦隊（指揮官　第百五十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百五十五航空艦隊（指揮官　第百五十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百五十六航空艦隊（指揮官　第百五十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百五十七航空艦隊（指揮官　第百五十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百五十八航空艦隊（指揮官　第百五十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百五十九航空艦隊（指揮官　第百五十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百六十航空艦隊（指揮官　第百六十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百六十一航空艦隊（指揮官　第百六十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百六十二航空艦隊（指揮官　第百六十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百六十三航空艦隊（指揮官　第百六十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百六十四航空艦隊（指揮官　第百六十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百六十五航空艦隊（指揮官　第百六十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百六十六航空艦隊（指揮官　第百六十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百六十七航空艦隊（指揮官　第百六十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百六十八航空艦隊（指揮官　第百六十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百六十九航空艦隊（指揮官　第百六十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百七十航空艦隊（指揮官　第百七十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百七十一航空艦隊（指揮官　第百七十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百七十二航空艦隊（指揮官　第百七十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百七十三航空艦隊（指揮官　第百七十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百七十四航空艦隊（指揮官　第百七十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百七十五航空艦隊（指揮官　第百七十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百七十六航空艦隊（指揮官　第百七十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百七十七航空艦隊（指揮官　第百七十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百七十八航空艦隊（指揮官　第百七十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百七十九航空艦隊（指揮官　第百七十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百八十航空艦隊（指揮官　第百八十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百八十一航空艦隊（指揮官　第百八十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百八十二航空艦隊（指揮官　第百八十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百八十三航空艦隊（指揮官　第百八十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百八十四航空艦隊（指揮官　第百八十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百八十五航空艦隊（指揮官　第百八十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百八十六航空艦隊（指揮官　第百八十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百八十七航空艦隊（指揮官　第百八十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百八十八航空艦隊（指揮官　第百八十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百八十九航空艦隊（指揮官　第百八十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百九十航空艦隊（指揮官　第百九十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百九十一航空艦隊（指揮官　第百九十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百九十二航空艦隊（指揮官　第百九十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百九十三航空艦隊（指揮官　第百九十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百九十四航空艦隊（指揮官　第百九十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百九十五航空艦隊（指揮官　第百九十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百九十六航空艦隊（指揮官　第百九十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第百九十七航空艦隊（指揮官　第百九十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第百九十八航空艦隊（指揮官　第百九十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第百九十九航空艦隊（指揮官　第百九十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百航空艦隊（指揮官　第二百航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百一航空艦隊（指揮官　第二百一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百二航空艦隊（指揮官　第二百二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百三航空艦隊（指揮官　第二百三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百四航空艦隊（指揮官　第二百四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百五航空艦隊（指揮官　第二百五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百六航空艦隊（指揮官　第二百六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百七航空艦隊（指揮官　第二百七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百八航空艦隊（指揮官　第二百八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百九航空艦隊（指揮官　第二百九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百十航空艦隊（指揮官　第二百十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百十一航空艦隊（指揮官　第二百十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百十二航空艦隊（指揮官　第二百十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百十三航空艦隊（指揮官　第二百十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百十四航空艦隊（指揮官　第二百十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百十五航空艦隊（指揮官　第二百十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百十六航空艦隊（指揮官　第二百十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百十七航空艦隊（指揮官　第二百十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百十八航空艦隊（指揮官　第二百十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百十九航空艦隊（指揮官　第二百十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百二十航空艦隊（指揮官　第二百二十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百二十一航空艦隊（指揮官　第二百二十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百二十二航空艦隊（指揮官　第二百二十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百二十三航空艦隊（指揮官　第二百二十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百二十四航空艦隊（指揮官　第二百二十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百二十五航空艦隊（指揮官　第二百二十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百二十六航空艦隊（指揮官　第二百二十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百二十七航空艦隊（指揮官　第二百二十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百二十八航空艦隊（指揮官　第二百二十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百二十九航空艦隊（指揮官　第二百二十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百三十航空艦隊（指揮官　第二百三十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百三十一航空艦隊（指揮官　第二百三十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百三十二航空艦隊（指揮官　第二百三十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百三十三航空艦隊（指揮官　第二百三十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百三十四航空艦隊（指揮官　第二百三十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百三十五航空艦隊（指揮官　第二百三十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百三十六航空艦隊（指揮官　第二百三十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百三十七航空艦隊（指揮官　第二百三十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百三十八航空艦隊（指揮官　第二百三十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百三十九航空艦隊（指揮官　第二百三十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百四十航空艦隊（指揮官　第二百四十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百四十一航空艦隊（指揮官　第二百四十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百四十二航空艦隊（指揮官　第二百四十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百四十三航空艦隊（指揮官　第二百四十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百四十四航空艦隊（指揮官　第二百四十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百四十五航空艦隊（指揮官　第二百四十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百四十六航空艦隊（指揮官　第二百四十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百四十七航空艦隊（指揮官　第二百四十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百四十八航空艦隊（指揮官　第二百四十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百四十九航空艦隊（指揮官　第二百四十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百五十航空艦隊（指揮官　第二百五十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百五十一航空艦隊（指揮官　第二百五十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百五十二航空艦隊（指揮官　第二百五十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百五十三航空艦隊（指揮官　第二百五十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百五十四航空艦隊（指揮官　第二百五十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百五十五航空艦隊（指揮官　第二百五十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百五十六航空艦隊（指揮官　第二百五十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百五十七航空艦隊（指揮官　第二百五十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百五十八航空艦隊（指揮官　第二百五十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百五十九航空艦隊（指揮官　第二百五十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百六十航空艦隊（指揮官　第二百六十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百六十一航空艦隊（指揮官　第二百六十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百六十二航空艦隊（指揮官　第二百六十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百六十三航空艦隊（指揮官　第二百六十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百六十四航空艦隊（指揮官　第二百六十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百六十五航空艦隊（指揮官　第二百六十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百六十六航空艦隊（指揮官　第二百六十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百六十七航空艦隊（指揮官　第二百六十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百六十八航空艦隊（指揮官　第二百六十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百六十九航空艦隊（指揮官　第二百六十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百七十航空艦隊（指揮官　第二百七十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百七十一航空艦隊（指揮官　第二百七十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百七十二航空艦隊（指揮官　第二百七十二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百七十三航空艦隊（指揮官　第二百七十三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百七十四航空艦隊（指揮官　第二百七十四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百七十五航空艦隊（指揮官　第二百七十五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百七十六航空艦隊（指揮官　第二百七十六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百七十七航空艦隊（指揮官　第二百七十七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百七十八航空艦隊（指揮官　第二百七十八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百七十九航空艦隊（指揮官　第二百七十九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百八十航空艦隊（指揮官　第二百八十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百八十一航空艦隊（指揮官　第二百八十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百八十二航空艦隊（指揮官　第二百八十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百八十三航空艦隊（指揮官　第二百八十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百八十四航空艦隊（指揮官　第二百八十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百八十五航空艦隊（指揮官　第二百八十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百八十六航空艦隊（指揮官　第二百八十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百八十七航空艦隊（指揮官　第二百八十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百八十八航空艦隊（指揮官　第二百八十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百八十九航空艦隊（指揮官　第二百八十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百九十航空艦隊（指揮官　第二百九十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百九十一航空艦隊（指揮官　第二百九十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百九十二航空艦隊（指揮官　第二百九十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百九十三航空艦隊（指揮官　第二百九十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百九十四航空艦隊（指揮官　第二百九十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百九十五航空艦隊（指揮官　第二百九十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百九十六航空艦隊（指揮官　第二百九十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第二百九十七航空艦隊（指揮官　第二百九十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第二百九十八航空艦隊（指揮官　第二百九十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第二百九十九航空艦隊（指揮官　第二百九十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百航空艦隊（指揮官　第三百航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百一航空艦隊（指揮官　第三百一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百二航空艦隊（指揮官　第三百二航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百三航空艦隊（指揮官　第三百三航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百四航空艦隊（指揮官　第三百四航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百五航空艦隊（指揮官　第三百五航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百六航空艦隊（指揮官　第三百六航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百七航空艦隊（指揮官　第三百七航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百八航空艦隊（指揮官　第三百八航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百九航空艦隊（指揮官　第三百九航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百十航空艦隊（指揮官　第三百十航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百十一航空艦隊（指揮官　第三百十一航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百十二航空艦隊（指揮官　第三百十二航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百十三航空艦隊（指揮官　第三百十三航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百十四航空艦隊（指揮官　第三百十四航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百十五航空艦隊（指揮官　第三百十五航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百十六航空艦隊（指揮官　第三百十六航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百十七航空艦隊（指揮官　第三百十七航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百十八航空艦隊（指揮官　第三百十八航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百十九航空艦隊（指揮官　第三百十九航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百二十航空艦隊（指揮官　第三百二十航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百二十一航空艦隊（指揮官　第三百二十一航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百二十二航空艦隊（指揮官　第三百二十二航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百二十三航空艦隊（指揮官　第三百二十三航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百二十四航空艦隊（指揮官　第三百二十四航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百二十五航空艦隊（指揮官　第三百二十五航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百二十六航空艦隊（指揮官　第三百二十六航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百二十七航空艦隊（指揮官　第三百二十七航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百二十八航空艦隊（指揮官　第三百二十八航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百二十九航空艦隊（指揮官　第三百二十九航空艦隊司令長官　及川古志郎海軍大將）

▲第三百三十航空艦隊（指揮官　第三百三十航空艦隊司令長官　古賀峯一海軍大將）

▲第三百三十一航空艦隊（指揮官　第三百三十一航空艦隊司令長官　嶋田繁太郎海軍大將）

▲第三百三十二航空艦隊（指揮官　

（第三種郵便物認可）　昭和十六年七月九日　（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千八百四十六號　（三）　A

南方共榮版

"極東危機"を呼號
香港軍備に躍起
支那人、印度人を徴用

【上海特急特電】英米の挑戦的態度は益々露骨化してゐるが、その一環たる香港の防衛強化及び自給について英國の「アイナンス・アンド・コンマース」誌は大要次の如く述べてゐる

香港では既に陸兵部隊と普通大部分の幼人は帰国し同盟軍を受けてゐる。支那人も既に引揚命令を聽取してゐる。殘留人員は陸上にて行ひ、直接の戰闘は行はず、兵站へ上陸可能と思はれる海岸に仕到る處鉄條網等の障害物で固め、トーチカ、機關銃、高射砲陣地も多數作られてゐる、山腹を利用して防空壕が作られ、燈火管制も組織的に行はれてゐる

萬一に備へる金融政策については英國の金融政策が採り、銀行券發行額は金融の實態を出來る限り嚴格に調整してゐる、香港防衛費については次の三つの要素がある

㈠英國の極東基地たるシンガポールから遠隔するためこれを防禦するとは不可能である、香港は多大の物力、人力をかけて防禦施設を強化する價値はないとする香港放棄論である

㈡香港は單に防禦のための前衛基地たるに止まらず前に對する積極的反撃の根據たらしめねばならぬ、それには強大な海軍力を以てシンガポールとの連絡を確保すると共に航行權による經濟力の擴張を必要とするといふ積極的觀點である

㈢二國間の條約の折衝である

而して第一の觀點からは英國の意圖に關する疑惑と關聯する香港の防衛は英國の極東防衛の觀點に關つてゐるものであるから單獨に考慮し得ないが、第二の觀點からは英國の極東防衛の觀點に關つてゐる香港は單に英國の極東防衛の觀點に關つてゐるのみならず香港の擔りうる役割は單に防衛のみならず經濟的觀點にも關聯する重要性を有するものである

英國は香港防衛費の一部を支那人、印度人に負擔せしめんとしてゐるが、これも日本の經濟封鎖に對抗するためである

日本人の住んで居たのがもう十人程、殘つた支那人は無氣力なこれまでの支那人と違ひ、安南人は無氣力なこれまでの支那人と違ひ、安南人は無氣力なこれまでの支那人と違ひ、安南

成層圏 (9)

廣津和郎作
大貫松三畫

若い畫家 (四)

「これで？」という風情をした私は、想像は得手の眼を見た。なるほど、ダンサーが突然したのでは、ダンサーが突然したという事はもうとも出来ようとしたけれども、それで「自分に何の用があるのです、という意味の「それで？」である。

吉川女史はそこでにこやかに笑つた。笑とあの系切眼に入れてあるプラチナがちらりと光つたが、智慧な微笑が何か用のいい感じを與へるような笑顔の女であつた。

「畫家の眼は鑑賞眼で終つて果れるというんですけれども、でもどんな仕事でもしなければならないというのに、どんな仕事にも向くやうには、なかなかわたし察作らないでもう、だもんだから……」さういつて又微笑びを見せて笑つて、「それで眞に食べて行かれるわけでもないでもう、何しろこのアパートの眼畫にも交通費が行かたつて、女給さんなんか大部分なくなつてしまひますからね。四十五圓や四十五圓で女一人食べて行けるお金だつて、せめて五位ゐると、わたし一人位の食べ料は浮いて来ます。——そんなに食べる方だかうなんですよ。私の胃は大きいんですね」

「これでも？」という風情をした私は、想像は得手の眼を見た。なるほど、ダンサーが突然したのでは、ダンサーが突然したという事はもうとも出来ようとしたけれども、それで「自分に何の用があるのです、という意味の「それで？」である。

吉川女史はそこでにこやかに笑つた。笑とあの系切眼に入れてあるプラチナがちらりと光つたが、智慧な微笑が何か用のいい感じを與へるような笑顔の女であつた。

「畫家の眼は鑑賞眼で終つて果れるというんですけれども、でもどんな仕事でもしなければならないというのに、どんな仕事にも向くやうには、なかなかわたし察作らないでもう、だもんだから……」さういつて又微笑びを見せて笑つて、「それで眞に食べて行かれるわけでもないでもう、何しろこのアパートの眼畫にも交通費が行かたつて、女給さんなんか大部分なくなつてしまひますからね。四十五圓や四十五圓で女一人食べて行けるお金だつて、せめて五位ゐると、わたし一人位の食べ料は浮いて来ます。——そんなに食べる方だかうなんですよ。私の胃は大きいんですね」

「これでも？」という風情をした私は、想像は得手の眼を見た。なるほど、ダンサーが突然したのでは、ダンサーが突然したという事はもうとも出来ようとしたけれども、それで「自分に何の用があるのです、という意味の「それで？」である。

吉川女史はそこでにこやかに笑つた。笑とあの系切眼に入れてあるプラチナがちらりと光つたが、智慧な微笑が何か用のいい感じを與へるような笑顔の女であつた。

「畫家の眼は鑑賞眼で終つて果れるというんですけれども、でもどんな仕事でもしなければならないというのに、どんな仕事にも向くやうには、なかなかわたし察作らないでもう、だもんだから……」さういつて又微笑びを見せて笑つて、「それで眞に食べて行かれるわけでもないでもう、何しろこのアパートの眼畫にも交通費が行かたつて、女給さんなんか大部分なくなつてしまひますからね。四十五圓や四十五圓で女一人食べて行けるお金だつて、せめて五位ゐると、わたし一人位の食べ料は浮いて来ます。——そんなに食べる方だかうなんですよ。私の胃は大きいんですね」

睡くなる文學

浅井恵倫

なるものは本當の文學で、睡くなるものは文學でない」という事は出ない。

高等學校の英語の時間にハーディーの小説が讀まされたことがあつた。近代英文學の巨匠の一人であるから知れぬ。S先生が教の頭に付き出したがら、いかにも眠氣らしい顏があらしく英國の家庭生活を敍したセックスの地獄が說かれるにもかかはらず、我々には一向にピント來ないし、はた眼前に自分でない、隣國の出來事に就て聞かされるのはいかに多くとも、その興味たるや殆ど無いに等しい。殊に英語の發音がS先生獨特のものであるから堪らない。

J君は本當の文學に觸れ入れて睡からだといふ。かうなるとS先生が閉ぢられない。

ハーディは日本の讀者から見ると、英國の田舍生活を敍した點に於て、殊に女の心理描寫に於て、漱石の「虞美人草」に比較されて可なりの興味を以て迎へられた作家である。

漱石の「虞美人草」は、藤尾、小野、甲野、宗近、糸子、小夜子、井上孤堂、宗近一、藤尾の母、甲野の母、甲野の妹、小野の母、小野の妹、宗近の母、宗近の妹、宗近の父、井上孤堂の娘、井上孤堂の妻、井上孤堂の父、井上孤堂の祖父、井上孤堂の曾祖父、井上孤堂の高祖父、井上孤堂の玄祖父、井上孤堂の來祖父、井上孤堂の昆孫、井上孤堂の仍孫、井上孤堂の雲孫、井上孤堂の耳孫、井上孤堂の遠孫、井上孤堂の末裔、井上孤堂の後裔、井上孤堂の子孫、井上孤堂の血統、井上孤堂の家系、井上孤堂の家柄、井上孤堂の家筋、井上孤堂の家風、井上孤堂の家格、井上孤堂の家名、井上孤堂の家門、井上孤堂の家族、井上孤堂の家庭、井上孤堂の家族構成、井上孤堂の家族制度、井上孤堂の家族関係、井上孤堂の家族生活、井上孤堂の家族問題、井上孤堂の家族主義、井上孤堂の家族国家

臺灣日日新報（第二版）　昭和十六年七月九日（水曜日）　（明治一册一年五月九日第三種郵便物認可）

明年度の豫算編成 閣議、四方針を決定

軍費以外は閣議で先議

【東京發同盟】明年度豫算編成方針は八日の定例閣議に於いて正式に決定、同日正午より如何なる發表をなすべきかに就いて閣議が開かれたが、右編成方針に關し重要なる點を總括すれば次の如くである

一、軍費に關しては國防國策遂行上緊要なる所要額を計上すべきは勿論なるも國家總動員法第二十條の規定に基き豫算の編成に當つては物資の需給關係を考慮し特に物資動員計畫との關聯に於いて適正なる計上を爲すこと

一、軍費以外の豫算は閣議に於いて先づ同方針を決定し之が方針に準據して各省豫算の調整を行ふこと

一、豫算編成に關しては以上の閣議決定に基き再檢討を加へ成案を得ること

昭和十七年度豫算編成方針

一、豫算は昭和十七年度に於ける國策遂行上緊要なる所要の經費を計上するものとす

一、豫算に計上すべき經費は國策遂行の緩急度に應じ適正なる重點に依るものとす

一、豫定經費については以上の觀點よりこれを再檢討し經濟的

本年度の實行豫算 編成決定、來週閣議へ

【東京發同盟】豫算は明年度豫算編成方針に基き目下大藏當局に於いて編成中であるが、來週閣議に於いて決定することとなつた

豫算概算提出期限 けふ臨時閣議

【東京發同盟】政府は八日の閣議で決定した明年度豫算編成方針に基き各省豫算の明年度豫算概算要求を來る八月十日までに、豫算計畫においては來る八月十日までに、豫算計畫においては來る八月十日までに、豫算計畫においては

社說

砂糖工業の多角的經營
砂糖生産費低下の爲にも緊要事

一

砂糖製造業にとつて原料の問題は第三工業部門と密接した關係を有し又米作其他に關聯して如何にして砂糖生産費を低下すべきかといふことである。一體現時與へられる甜菜奬勵金の交付と公價問題の引上げ等が殆ど行詰りの狀態にあるとすれば增產の方法も勿論考へなければならぬし、生産費に於ても著しく低下し得るやうに工夫を凝らすべきは當然のことである。

二

砂糖製造業は明治三十年頃に於ける改良製造の歴史を有し、當初の原料中心となる臺灣の甘蔗が、僅か數年間に著しく改良の實を擧げてゐる。

米と移民に於ける如く、今にして關係向きを示してゐるが、今にして關係者の眼に打たれることと思ふ。

又甘蔗の品種改良に於ても、大正十四年頃から大正十五年頃にかけて、F一九二八、F一九三五、F一九三六、F一九三七等の新品種が續々と發表されて來たのであるが、其後殆ど新品種の發表がなく、甘蔗の品種は依然として十年前と大差ない狀態にある。

三

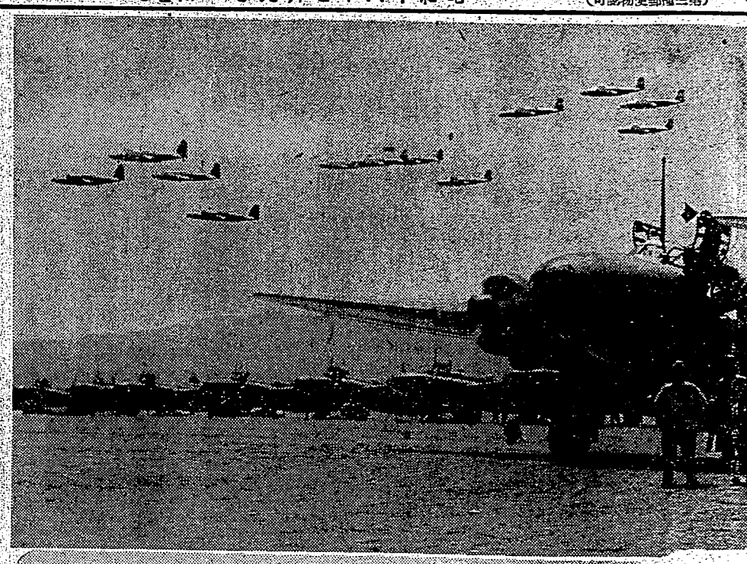
斯くの如く副産物の利用問題も、原料の改良問題も、何れも製糖工業の合理化と共に重要な問題であるが、其の中でも特に重要なことは、製糖工業の副産物である糖蜜の利用問題である。

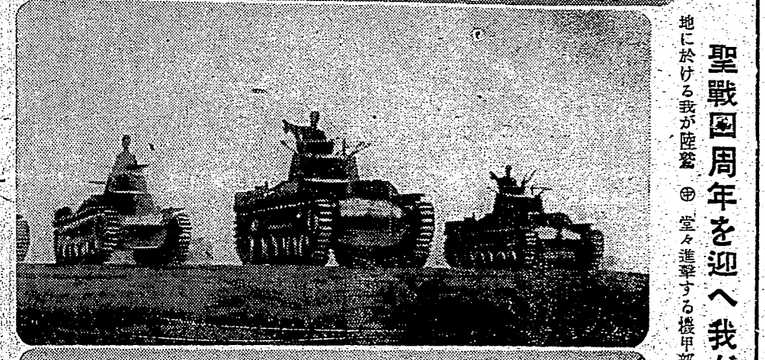
糖蜜の利用方法としては、從來から飼料、醸造用、酵母用、アセトン、醋酸、酒精、グリセリン、酵母エキス、ビタミンB、グリセリン、酵母エキス、ビタミンB、グリセリン、合成醋酸、アルコール、ブタノール、アセトン、醋酸、酒精

女性の聲も聽く

皇民奉公會に婦人委員會設置

これで整つた翼贊體制





聖戰四周年を迎へ我が陸軍の偉容

地に於ける我が陸軍 ㊤ 堂々進撃する機甲部隊 ㊦ 砲兵部隊の偉觀

㊤ 前線〇〇基

皇民奉公會の婦人委員會設置に關する件は、豫ねて準備中であつたが、八日總裁宮殿下の御臨席を仰ぎ、午前十時から、東京會館に於て、婦人委員會の發會式を擧げた。

發會式は、先づ總裁宮殿下の御挨拶があり、次いで、中央本部の組織、運營に關する件、婦人委員會の組織、運營に關する件、婦人委員會の事業に關する件、婦人委員會の經費に關する件、婦人委員會の役員に關する件、婦人委員會の會則に關する件、婦人委員會の發會に關する件、の順序で、それぞれ、議長の指名により、議事を進め、滯りなく終了した。

發會式に參列した婦人委員は、次の通りである。

▽會長 近衛文麿公爵夫人 ▽副會長 有馬賴寧伯爵夫人 ▽副會長 大谷尊由氏夫人 ▽副會長 藤原銀次郎氏夫人 ▽副會長 安井誠一郎氏夫人 ▽副會長 大政翼贊會婦人部長 赤松常子 ▽副會長 大日本婦人會會長 奥村喜和男氏夫人 ▽副會長 大日本國防婦人會會長 武藤貞一氏夫人 ▽副會長 大日本連合婦人會會長 藤原咲平氏夫人 ▽副會長 大日本聯

各地綜合版

澎湖から初名乘り

運轉手楊君ほか四君が連署して

風早要塞司令官宛歎願

【馬公特電】大正五年澎湖島出身の陸軍軍醫學校卒業生で現在陸軍軍醫學校に在學する本島人出身軍醫中尉の高雄要塞砲兵聯隊附轉任發令に關し、澎湖島民の一部では、同中尉は澎湖島出身の軍醫として初めて將校に任官したものであるから、地元部隊に勤務してもらいたいとの希望を有し、澎湖島のみなら〻ず廣く全島から署名を募集の上、同中尉の高雄要塞砲兵聯隊附轉任發令を取消し、澎湖島の部隊に勤務せしめられたき旨の歎願書を、風早要塞司令官宛提出することに決定し、目下署名運動中であるが、同中尉は澎湖島出身の軍醫として初めて將校に任官したものであるから、地元部隊に勤務してもらいたいとの希望を有し、澎湖島のみなら〻ず廣く全島から署名を募集の上、同中尉の高雄要塞砲兵聯隊附轉任發令を取消し、澎湖島の部隊に勤務せしめられたき旨の歎願書を、風早要塞司令官宛提出することに決定し、目下署名運動中であるが、

赤誠迸る連署の血書

【臺北特電】澎湖島出身の陸軍軍醫中尉が高雄要塞砲兵聯隊附轉任發令を聞き憤慨して、澎湖島の有志が、同中尉の轉任發令取消を要望する歎願書を提出したが、同中尉は、一旦發令された以上、軍人として命令に服從するのは當然であるとして、歎願書を却下したので、澎湖島の有志は、更に血書を以て、同中尉の轉任發令取消を要望することに決定し、目下署名運動中であるが、

臺北州下

高砂族青年團幹部らが

事變 **記念日に獻金**

志願兵制實施を壽ぎ

【臺北電話】臺北州下の高砂族青年團幹部は、今回の陸軍特別志願兵制實施を壽ぎ、一團となつて、十一日午前十時、臺北州廳に、理蕃課長を訪ひ、志願兵制實施を壽ぎ、一團となつて、十一日午前十時、臺北州廳に、理蕃課長を訪ひ、

聖戰・想出の畫帖

② 風呂

私は〇〇年九月上等兵として歩兵第〇聯隊に入營した。初年兵の教育が終つて二ヶ月過ぎた頃だつたと思ふ。或日の晩、營内の浴場に行つた。軍隊の浴場は、なかなか自由に入つた時は本當に嬉しかつた。

うすら寒い夜風に吹かれながら、「先日の晩、夢の中で、誰かと話してゐたのは、三石のお母さんだつたでせう」

「ええ」

「可笑しいね」

「いや、眠……」

「さうですよね、ご心配もさぞかしでせう」

「……」

「可笑しいね」

うすら寒い夜風に吹かれながら、「先日の晩、夢の中で、誰かと話してゐたのは、三石のお母さんだつたでせう」

「ええ」

「可笑しいね」

「お母さんといふものは、何と云つても、有難いものですね」

「いや、眠……」

「さうですよね、ご心配もさぞかしでせう」

「……」

「可笑しいね」

うすら寒い夜風に吹かれながら、「先日の晩、夢の中で、誰かと話してゐたのは、三石のお母さんだつたでせう」

「ええ」

「可笑しいね」

「お母さんといふものは、何と云つても、有難いものですね」

「いや、眠……」

「さうですよね、ご心配もさぞかしでせう」

「……」

「可笑しいね」

戰地の困苦想へば

贅澤なんか出來ぬ

積極的氣魄に乏しい

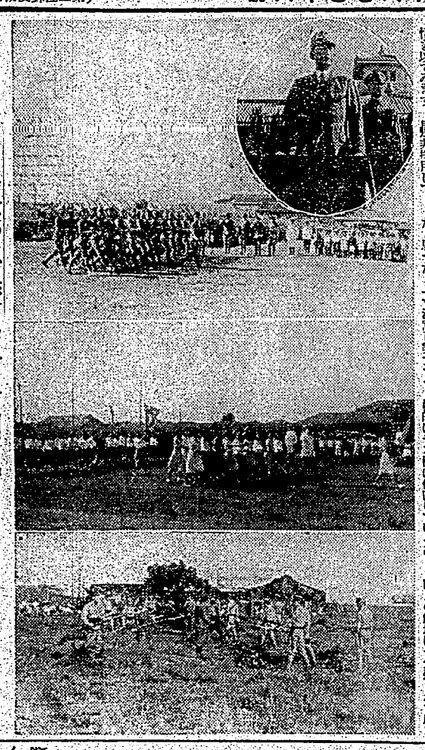
初巡視の所感・川添澎湖廳長談

軍人援護展覽會

【臺南電話】軍人援護會臺南市分會では來る十日より十四日まで五日間市内末廣町の同會事務所に於て軍人援護展覽會を開催するが、同會では今回の展覽會を機會に一般市民の軍人援護に對する認識を深めるため、各家庭に於ける軍人援護の實狀を調査し、優良家庭には表彰狀を授與することになつてゐるが、

馬公の支那事變記念分列式

次いで分列式が擧行された。（台灣日日分列式第一風早部隊司令官閲兵）



都市對抗拳鬪後援會終る

事變記念日を卜し

志願兵願書を提出

宜蘭郡下に魁けて富山君

遺家族を招待して

慰安演藝會開催

事變記念日 彰化市の行事

老春

川口松太郎作

伊勢良夫畫

心の故郷（七）

難病人の喜び

變つた珍らしい効め!!

松鶴堂 漢方醫藥相談部